

6.3 単純選択法

単純選択(selection sort)法とは、最小の要素を選択し、先頭の要素と交換する方法です。単純交換法に比べて、交換のためのコストは少なくなりますが、離れた場所を交換するので、安定でないソートになります。

単純選択法では、図 6-6 のように、未ソート部の最小要素を未ソート部の先頭と交換します。未ソート部のポインタは 1 ずつカウントアップします。未ソート部より前は、ソート状態(既ソート部)になります。

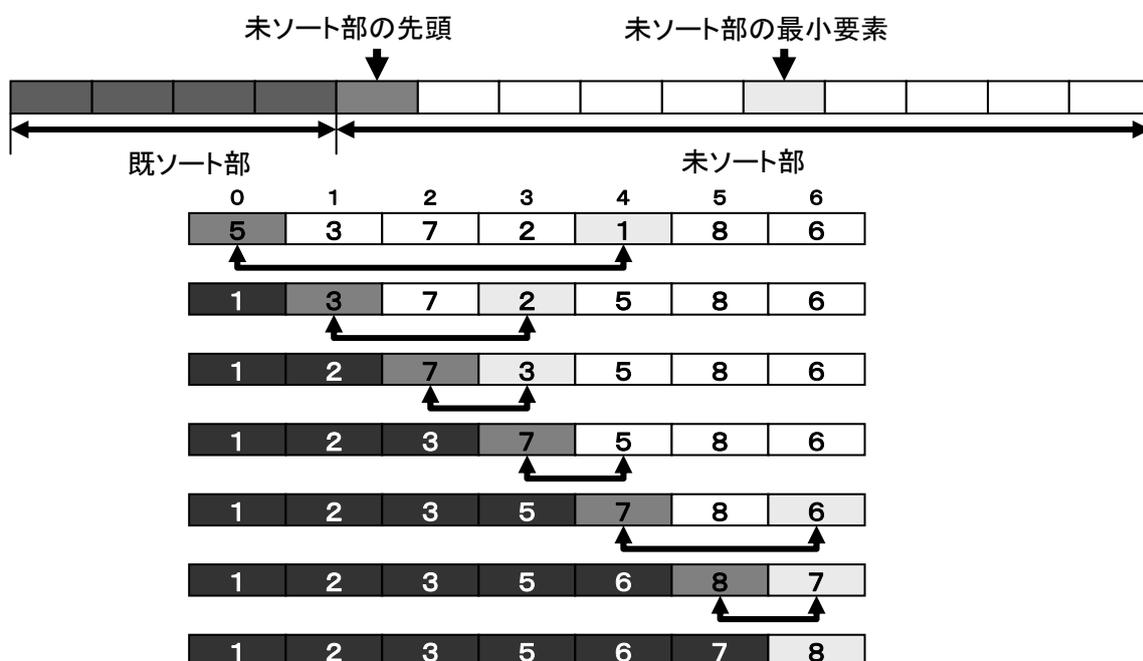


図 6-6 単純選択法

[プログラム例]

```
private void 単純選択法()
{ int i, j, ID, minDATA;
  for (i=0; i<Data.Length-1; i++)
  { minDATA=Data[i]; ID=i;
    for (j=i+1; j<Data.Length; j++)
      if (minDATA>Data[j]) { minDATA=Data[j]; ID=j; }
    if (ID!=i) { Data[ID]=Data[i]; Data[i]=minDATA; }
  }
}
```